

第1学年英語科学年末考査の内容

1 範囲

- (1) 教科書 Lesson 8(p.100)～Let's Read(p.128) ※授業で扱っていないページは除く
- (2) 問題集 同上の範囲 (pp.120-157) ※採点して確実に力をつけておくこと
- (3) 副読本 *King Auther and the Sword* ※単語・本文を覚える必要はない(2(2)参照)
- (4) 基礎英語 12/5 放送分～2/24 放送分
- (5) その他 プリントの試験範囲内で配られたものすべて

2 内容

- (1) 放送を聞いて答える問題 (35～40%)
 - ・基礎英語の内容理解に関するもの
 - ・教科書の基本的表現の理解に関するもの
 - ・質問への応答に関するもの
 - ・教科書の本文を聞いて正しく書き取るもの
 - ・その他
- (2) 英語を読んで答える問題 (5%)
 - ・概要理解や要点理解に関するもの(語彙、表現、文法の問題は出さない)
- (3) 英語を書いて答える問題 (60～55%)
 - ・語いに関するもの(単語、連語)
 - ・文法理解に関するもの
 - ・表現力に関するもの(場面表現、条件作文等)
 - ・その他

問題形式は前回(後期中間考査)とおおむね同じようなスタイル(一部を変える予定)で出します。前回は参考に対策を立てておきましょう。

3 対策

- (1) 完全に理解するまで復習する
 - ・文法は必テキやプリントを使ってわからないところなくなるまで何度もやってみる。
→自信が持てるようになるまでやらないと、落ち着いて試験を受けられない。
 - ・教科書本文はすべての文の意味がわかっているか確認する。
→意味がわからないまま練習しても力はつかない。
 - ※*King Auther*は読み込んで内容を頭に入れる。語彙や表現を覚える必要はありません。
- (2) 正しく言える、読めるようになるまで練習する
 - ・伝えたいことを正しく言えるかどうか確認する。
→中途半端に「言える」と思いこんでいるのが怖いので、正確に言えるか確認する。
 - ・教科書本文を暗記してしまうまで読み込んでおく。
→暗記することが目的ではなく、結果として暗記してしまったというくらい読み込む。
- (3) 正しく書けるようになるまで練習する
 - ・教科書に出てきた単語(*Word Bank*含む)はすべてつづりが正確に書けるか確認する。
→つづりミスで点を落とすのが一番もったいない。直前の「単語テスト」を目標に!
 - ・教科書本文はすべて正しく書けるか確認する。
→言える、読めるようになって、書けるようになっていないと点数には結びつかない。
 - ※基礎英語の単語や本文は書けるようになる必要はありません。

4 備考

- (1) テスト当日に「必修テキスト」を集めます。指定されたページまでしっかりやり、必ず自分で採点しておくこと。ただし、くれぐれもテスト後にあわててやるなどということがないように。
- (2) テストでよい点を取るとは英語の力をつける過程での1つの「目標」ではありますが、英語学習の「目的」ではありません。くれぐれもテストのためだけの一夜漬け勉強をすることがないように。そういう勉強スタイルを繰り返している間は本当の力はつきません!
- (3) 今回も試験範囲がかなりあります。早めに一度はすべて復習しておくこと。